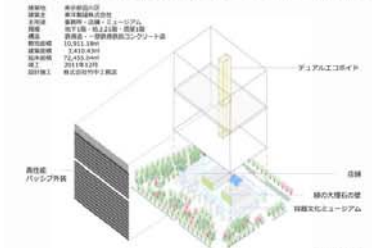


高層階のハイパーバー、高層階エントランスホールを特徴とするハイライズをコアに据え、環境性能の向上を図る。高層階のハイライズをコアに据え、環境性能の向上を図る。高層階のハイライズをコアに据え、環境性能の向上を図る。

### ランドスケープと一体化したハイライズによる都市の「再自然化」

都心地区の工場跡地再生プロジェクトとして、都市の「再自然化」を主眼とし、高性能外装、デュアルエコポイド、縦断へのウォーターチューブの導入等によりランドスケープと一体化した次世代の超高層オフィスビルを創出を試みた。



#### 1. 自然と応答する「高性能バツプ外装システム」

針葉樹と公共施設に面した西側に大きな広場を設けた建物から、西日対策と景観の確保が課題となった。入居者の視認性を確保し、建物と周囲との調和を図るため、外装に「バツプシステム」を採用。季節によって異なる呼吸をする自然現象のエアバリアを模した。自然と応答する「高性能バツプシステム」を実現した。この外装は針葉樹の葉の最大発露率のために導き出された対称的な「バツプ形状」とガラス面からわずかに浮遊して取り付いた「バツプシステム」により、見る視点や時間帯によって様々な表情を演出する。

#### 2. 「デュアルエコポイド」と「コミュニケーションゾーン」の連携

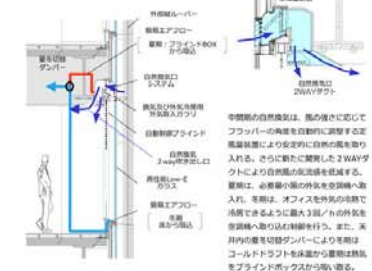
経路ビルにおける新しい「環境デバイス」である上下分断した「デュアルエコポイド」を建物中央部に導入。安定した自然換気・自然光導入を図った。コア部へ集まる高層階を自然換気・自然光導入を図るため、コア部に「ハイブリッドダブルチューブ」を採用することで、空間・設備に自律性を持たせ、「デュアルエコポイド」を中心に据えた「バツプシステム」・「デュアルエコポイド」・「コミュニケーションゾーン」を光と風と視覚が繋がる一体的空間とした。

#### 3. 内部空間と融合したランドスケープ

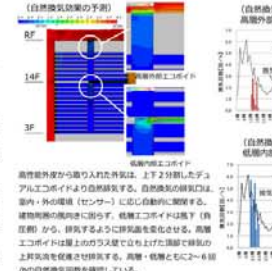
かつて田舎の風景が広がっていた自然を再現することを目的とし、緑豊かなランドスケープと内部空間を融合することを試みた。北側に城南五山の一つである墨堤山を望む、起伏に富んだ墨堤山の地形を参考に、建物の外観に自然の地形を模してデザインした。この外観を模した緑豊かなランドスケープをデザインした。1階エントランスホールと高層階エントランスホールをオープンスペースとして繋ぎ、高層階エントランスホール内に設けた。さらにウォーターチューブや風が循環等により調整された外気を内部に導入することで、ランドスケープと内部空間が「グリーン」な環境として光と風と視覚が繋がる一体的空間を創出した。



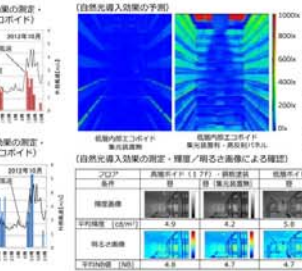
#### ●「高性能バツプ外装（西面）」の構造詳細



#### ●100mの高層階に設置した風の「デュアルエコポイド」デザインの性能検証



#### ●100m下まで自然光を均等に導入する風の「デュアルエコポイド」デザインの性能検証



#### ●ランドスケープと一体化した1階エントランスホールの性能検証

